

## ご挨拶



明けましておめでとうございます。  
昨年は新型コロナウイルス対策に翻弄された一年であつたと回想しております。

この対策のため恒例行事一つひとつに検討を行い、演目の縮小、保護者等のご招待の適否、更には行事等の中止を余儀なくされこれによつて、楽しみにしていた利用者さんや保護者様等に寂しい思いをさせてしまつたのではないかと自責の念に駆られたのではないかとありました。

しかし、これらの措置によつて感染もなく利用者さんはじめ職員一同元気で新年を迎えることができ良かつたと思つています。

新年に入りましたが、感染者数の減少も望めない状況が見られ、今後一時の収束はあつても終息にはまだまだほど遠く予断の許さない日々が続くでしよう。引き続き緊張感をもつて各種防止対策を講じて行きたいと思つています。

さて、コロナ禍中ににおいていかに支援をしていくかを中心にして、今年の所信の一端を述べさせていただきま

す。

当法人は、障害者支援施設『聖愛園』と生活介護事業所『サニー・プレイス』の二施設を運営しております、本年も【利用者第一主義】に徹し、感染防止対策に配意した質の高い福祉支援を目指して行きます。

更に公益事業として『ひきこもり相談支援』を開設しております。これに関しても感染防止対策を基本にした関係機関・団体からのご指導・ご協力を得、また連携を図り更なる充実をさせていきたく思います。

今年は、丑年「うしどし」です、子年「ねどし」に蒔いた種が芽を出し成長する年と言われています。先を急がず目前の事を着実に進めることが将来の成功に導くと言います。

又、二〇二一年は、新しい時代の始まる年であると言われ、これを運氣としてとらえ『法人運営』に心がけていきます。

最後になりましたが、本年も皆様方のご多幸とご健勝を祈念いたしました。

かぼちゃのプリンを食べて頂いた後、皆でゲームをしました。玉入れでは、かぼちゃの型抜きに紅白の玉を入れたり、ミニボーリングではペントボトルを倒そうと、一生懸命ボールを転がしていました。釣りゲームでは、糸の先に磁石をつけ、ハロウィンの塗り絵をたくさん釣り上げていました。中でも釣りが大好きな男性利用者さんは釣り上げるたびに満面の笑みを浮かべていました。このパーティーで利用者さんと職員は更に深い絆ができました。

最後に、一日も早くコロナウイルスが終息することを願います。

聖和福祉会理事長

田山耕三

生活支援員 大西ゆかり

ハロウイン  
パーティー発行所  
聖和福祉会  
聖愛園

〒519-2211  
三重県多気郡  
多気町丹生4701  
TEL 0598-49-3115  
FAX 0598-49-3783

## サニープレイス

〒515-0052  
三重県松阪市  
山室町2580  
TEL 0598-30-5585  
FAX 0598-30-5586

# わたしの願い

新型コロナウイルス感染症対策で、今年度は日帰り旅行を始めとする外出活動を、ドライブ外出に変更し、行事に関しては中庭で秋刀魚を焼いて食べる行事を中止し、ハロウインパーティーに変更。クリスマス会は、利用者さんと職員のみで行い、極力外部の方々との接触を減らす取り組みを心掛けました。

コロナ禍で、行事の縮小を余儀なくされても利用者さんと職員の皆さんで頂ける工夫を凝らし、各行事、利用者さんと一緒に盛り上げ、笑顔溢れるものになりました。

日々、利用者の方々と接するにあたり、思うことがあります。『複雑なことを理解することが苦手でも、表現が上手くできなきとも、内面には必ず一人ひとりに個性的で豊かな感情が存在している。その部分を大切にしたい。』ということです。とは言え、常に利用者さんや、職員の笑顔に助けられているのが現状ですが：

一日の仕事を終え、帰路につく車の中で、◇今日一日、利用者さんや職員、関わって下さった全ての方々に笑顔で接することができたか？◇利用者さんにしつかり向き合えたか？◇今日の自分に足りなかつたものはなかつたか？何が足りなかつたか？◇今日できなかつたこの部分は、明日こうしてみようなど、一日の振り返りをしています。今日の自分と向き合い、今日の自分をリセットし、明日からの自分であるための大切な時間です。

聖愛園で生活をしている利用者の皆さんや、ご家族様に寄り添い、少しでも楽しい時間の提供ができたら、それが私の役割なのかなと、思っています。そして何よりそれが私の願いです。

サービス管理責任者 羽根めぐみ

# 相談支援



令和二年十二月一日より、「聖和福祉会相談センター」において、相談員をしています藤村と言います。以前は、生活支援員として入所されている利用者さんの生活の支援をしていましたが、人事異動により「相談支援」を担当しています。

相談支援には、3つの種類があり相談の内容に応じて「基本相談」「計画相談」「地域相談」に分けられます。現在、おもに聖愛園を利用されている方の「計画相談」を行っています。計画相談では、障がい福祉サービスの利用申請に必要なサービス等利用計画の作成、サービスの利用についての相談、関係機関との連絡調整、また、サービスの利用状況などを定期的に確認（モニタリング）をしています。計画を作成するにあたっては、利用者さんの気持ちに寄り添うこと、気持ちを汲取ろうとする姿勢は、相談支援専門員として基本であります。とくに自分の意思を表現しにくい方の支援について本人の想いや希望が反映されているか計画を何度も読み返すこともあります。まだまだ不慣れで力不足を感じていますが、利用者さんがこれからも自分らしい生活を続けていけるよう、より良い相談や支援を続けていきたいと思いますので今後ともどうぞよろしくお願いします。

また、聖和福祉会では、社会福祉法人の公益的な取り組みとして、ひきこもりをされている方の相談支援をしています。本人、ご家族様、ひきこもりでお悩みの方がおられましたら、ひとりで悩まず是非ご相談して下さい。お待ちしています。

相談支援専門員 藤村 里香



## サニープレイス便り



サニープレイスでの活動は、陶芸や調理、音楽ダンスや体力作りなどさまざまな活動をしていますが、中でもイベントや外出活動が特に充実しており、利用者の皆さんもとても楽しみにされています。

今まで県外に行ったり、一泊旅行を行つたりと、当たり前に行けていたことが今年度は新型コロナウイルスの影響で、ほとんどの計画が中止になってしまいました。たくさん楽しい予定が中止になり、利用者さんの楽しみがなくなってしまうのはとても辛いので、外出をしなくても楽しめる事はないかと考え、夏には夏祭りを提案、企画しました。サニープレイスでは初めてのイベントで、射的やヨーヨー釣りなど準備は大変でしたが、利用者さんにはとても喜んでいただけました。

また、一大イベントでもある忘年会も、通常ならば紀伊長島の方まで出かけているのですが、やはり新型コロナウイルスの影響で初めてサニー内で行う事になりました。少しでも喜んで、楽しんで頂けるようにと考え、職人さんを招いて魚の解体ショーをしたりビンゴゲームをしたりと、こちらも大盛り上がりでした。そんな利用者さんの楽しそうな笑顔や喜ばれる姿を見ると本当に嬉しくなります。

このコロナ禍がいつまで続くかわかりませんが、外出をしなくても楽しんでもらえるようなイベントをこれからも考えていきたいと思います。そして早く終息することを願っています。

サニープレイスサービス管理責任者  
神田 知美



←職人さんに目の前で魚を捌いて頂き、豪華なお刺身が完成☆利用者さんもニッコリ



お祭りの雰囲気を楽しんでもらうため職員も準備万端♪



## 夏祭り



↑↓やきそば・かき氷、ヨーヨー釣りなどお祭りの定番が勢ぞろいし、皆さん楽しまれています。



## 忘年会



bingoゲームでは誰が一番早くbingoを出すか、大盛り上がり☆



# 栄養便り

## 三大うま味成分

- ・グルタミン酸
- ・イノシン酸
- ・グアニル酸

…昆布だし  
…カツオだし  
…干し椎茸だし



だしやうま味調味料を下味に活用するのも減塩のコツです。また、塩やしょう油での下味を酒やにんにく・しょうがなどの風味のある食材に代えてみましょう♪

通常使用している塩の量を控えて、うま味成分を活用することで減塩に繋がります。  
おだしの足し算で美味しく、楽しくお家時間をお過ごしていきましょう♪  
うま味成分を上手に活用し無理なく減塩をしま

しょ。  
栄養士 野田 未有

生活習慣病予防の為、厚生労働省が定めている日本人の食事摂取基準二〇一五年度版では、一日当たりの食塩摂取量を、成人男性八・〇g未満、成人女性七・〇g未満に抑えることを目標として定められています。

コロナの影響でお家での生活時間が増えたことだと思います。冬はイベントが盛りだくさん♪クリスマス、年越し、お正月等々：イベントが続くとついつい自分へのご褒美で、好きなものを好きなだけ食べてしまうのではないでしようか。

## 聖愛園運動会



毎年恒例の秋の行事、聖愛園の令和二年度の運動会が九月の三〇日に行われました。

競技種目は「玉入れ」「お菓子取り競争」「バラバーン」の三つを行いました。

利用者の方全員が赤組と白組に分かれ、はちまきをしめ気合い十分で参加されました。職員にはちまき姿を「見て見て」と指さし見せて下さる利用者の方も沢山見えました。

「バラバーン」は円形の軽い布のふちを皆で持つて上下させる種目です。聖愛園では布の上にゴムボールを乗せるのですが、これが難しいのです。すぐにボールが落ちてしまいます。

「バラバーン」は円形の軽い布のふちを皆で持つて上下させる種目です。聖愛園では布の上にゴムボールを乗せるのですが、これが難しいのです。すぐにボールが落ちてしまいます。  
利用者さんも職員もボールの動きに一喜一憂一緒に「わーわー」と盛り上がり楽しみました。  
外出機会も減り、体を動かす機会も減っていましたが、この日はみなさん楽しそうに体を動かしていました。

# 聖愛会クリスマス会



生活支援員 坂本 かおり

今年度のクリスマス会は、コロナウイルスの影響の為、ご家族を招待せず、利用者さんと職員だけで、実施しました。例年とは違い、職員が出し物を考えました。当日は初めに利用者の皆さんと職員で、ジングルベルと赤鼻マスクケーキを食べた後は二種類の紙芝居を上演しました。施設長のフルート演奏や、利用者のダンス発表もあり、最後は理事長がサンタの衣装を着てプレゼントを配つて下さいました。皆さん笑顔でプレゼントを受け取っていました。コロナ禍で行動が制限される中、少しの間でも笑顔で過ごして頂けたようで安心しました。

これからも日々穏やかに過ごして頂けるよう、努めさせて頂きます。



↓利用者がいつも練習されているダンスの披露もありました☆



↑今年度は職員による紙芝居を上演しました！



皆さん楽しみにされているサンタさんからのプレゼント。今年は何が入っているか楽しみです。



# 医務便り



毎年後期には医務での取り組みとして、①インフルエンザ感染予防の徹底と②消防訓練として救命訓練（心肺蘇生術）を実施しています。今回はコロナ禍であり、毎年の取り組みにも変化がありました。

①インフルエンザ感染予防は勿論のことですが、今回は並行してコロナ感染予防（感染拡大予防）について改めて全職員に発信しました。

厚生労働省から発表されている感染拡大防止のための留意点について、聖愛園独自のものを作成。また拡大防止策として、感染疑い時には早急に対応出来る様、全職員にN95マスクを配布し、装着方法をマンツーマンで指導しました。それに合わせて感染拡大防止の留意点についても再確認しました。

②救命訓練についてですが、毎年消防署職員の方から指導して頂いておりましたが、今回は感染予防対策で中止。看護師が新型コロナウイルス感染症対応版の応急手当講習テキストに基づき、前回までの対応と異なったポイントを押さえ講習を実施しました。（実技訓練については飛沫感染予防対策としてイメージトレーニングで実施）

前回までと異なる点は、傷病者がコロナ感染症が疑われる場合を想定した救命処置になります。

毎年後期には医務での取り組みとして、①インフルエンザ感染予防の徹底と②消防訓練として救命訓練（心肺蘇生術）を実施しています。今回はコロナ禍であり、毎年の取り組みにも変化がありました。

- 救助者が感染予防のために傷病者との距離を保つ。
- エアロゾル飛沫を防ぐため、胸骨圧迫を開始する前に、傷病者の鼻と口にハンカチやタオル等を被せる。
- 人工呼吸を行わずに胸骨圧迫とAEDを実施

以上を踏まえての応急手当となると、いざ傷病者を目前とした時、身構えてしまう自分がいることも確かです。それだけコロナ禍での救命処置が難しくなって来ると思います。

最後になりますが、聖愛園での取り組みとして「感染しない」「感染させない」「持ち込まない」と全職員で周知徹底し、一处置、一手洗い・消毒の実施で感染予防継続中です。その結果、一昨年、昨年共に施設利用者のインフルエンザ感染は一件もなく効果は明らかになっています。

コロナ禍での日常は普通であったことが全てに対応して普通でなくなり、限りないストレスを抱えながらの生活になっています。苦痛にしか感じない日々ですが、自分自身が感染せずに生活出来ていることに感謝しつつ、施設利用者・職員・家族全員が感染せずに日々生活できることを祈りながら感染対策を継続していきたいと思います。

看護師 井元 美代子

（）芳志（）芳名（敬称省略）  
保護者会・武田スミヨ  
伊藤敬子  
(他にも匿名で頂戴しております)

（）芳志（）芳名（敬称省略）

東谷順子・大谷勲・早崎喜代子  
岸川みつ子・印南勝  
山岡隆・岡本祐真・岩城央生  
伊藤敬子

西組・でんきや・聖の家

三光運輸・トモ・三重義肢  
マルエイ・小山株式会社

（他にも匿名で品物を頂戴しております）

機関紙ひだまり第五十三号を発行させていただきました。」一読いただければ幸いです。宜しければ聖愛園とサニープレイスのブログもご覧下さい。

<http://seiiaien.exblog.jp/>  
<http://seiwfukusikai.com/blog/>